

摘みたて直送『とちおとめ』 栃木県茂木町が特産品をPR

栃木県茂木町が3月12日、道の駅国見あつかしの郷で出張販売会を行い、特産品のとちおとめや「道の駅もてぎ」で大人気のゆず塩ら〜めん、いちごシロップなどの6次化商品販売しました。

茂木町と国見町は平成29年に「災害時相互応援協定」を締結したほか、互いに道の駅での特産品販売などでも交流連携を深めています。



茂木町の特産品がずらりと並びました

木のぬくもりを感じて

国見町ウッドスタート・木育推進事業

福島県森林環境交付金を活用して、昨年誕生した23名の赤ちゃんに国見町産のスギ材を使用した名前入り積み木を誕生祝品として贈呈。引地町長が阿部未来ちゃんに名前が彫刻されたオリジナルの積み木を手渡しました。ご両親の修晟さんと智美さんは「この積み木で遊んで、町と一緒に成長してほしい。大切に使います」と話しました。



オリジナルの積み木を受け取る阿部さん家族

子育て世代に優しい町づくり

板橋南子育て住宅引き渡し式

板橋南子育て住宅1号棟と2号棟が完成し、3月25日に鍵の引き渡し式が行われました。福島市の八巻興業株式会社代表取締役社長の八巻弘一さんが「事故もなく、降雪が多い年だったが予定通りに完成できた。地震の影響もなく、町の移住定住促進のお手伝いができて嬉しい」と述べました。板橋南子育て住宅は4月から入居開始予定。1号棟、2号棟ともに入居者を募集しています。



引地真町長（左）と八巻弘一代表取締役社長（右）

新規就農に向けた第一歩

くにみ農業ビジネス訓練所長期研修修了証書授与式

くにみ農業ビジネス訓練所長期研修修了証書授与式が3月28日にくにみ農業ビジネス訓練所で行われました。1年間の農業研修を終えた長期研修生6名が、訓練所所長の佐藤博志さんから修了証書を受け取りました。佐藤所長は、「皆さんにはたくさんの方が注目しています。これからは人の輪を広げ、健康に十分注意して農業を頑張ってください」とお祝いのことばを修了生に送りました。



1年間の長期研修お疲れ様でした



菊地雛乃さん（左）と宇野羅沙佑さん（右）

被災地から感謝を込めて 小中学校の生徒へ御礼品の贈呈式

国見小学校と県北中学校の生徒へ、国見郵便局と佐賀県武雄郵便局長、佐賀県南部地区連絡会郵便局長から御礼品が贈られ、贈呈式が3月7日に行われました。この御礼品は昨年8月の九州地方豪雨災害に対し、児童・生徒らが応援メッセージを送ったことに対し贈られたもの。国見小学校代表の菊地雛乃さん（6年）、県北中学校代表の宇野羅沙佑さん（2年）が、木賀順一国見郵便局長から御礼品を受け取りました。



説明を受ける津田哲夫さん（中央）

頑張る農業者を支援します

10組織が合計10台のスピードスプレーを導入

町の農業機械導入支援事業の補助を受けたスピードスプレーヤーが3月9日に納車されました。この事業は、凍霜害で被害を受けた農業者らが組織する組合へ町が補助を行い、度重なる自然災害に負けず、営農を継続する農業者を町が支援するもの。神明果樹防除組合（森山）代表の津田哲夫さんは「この事業のおかげで、これからも農業を続けていく意欲が沸きました。」と今後の果樹生産への意気込みを語りました。

昔の人々の暮らしを知る

国見小3年生が歴史探検

国見小学校の3年生53名が、3月9日に観月台文化センター敷地内の旧佐藤家住宅を見学しました。当日は「くにみ案内人」の中村洋平さんと笠松金次さんが講師を務め、昔の人々の暮らしや生活の様子について学びました。児童らは現在では珍しい茅葺き屋根や土壁に興味を持った様子で、講師の説明に耳を傾け熱心にメモを取るなど、昔の人々の生活様式や暮らしの知恵などについて理解を深めていました。



中村洋平（左）さんの説明を聞く児童ら

官民一体で災害時の支援を

国見町と佐川急便が協定締結

町と佐川急便株式会社は3月10日、「災害時における支援助物資の受入及び配送等に関する協定」を締結しました。この協定は、災害発生時に支援助物資の受け入れや配送等が困難になった場合、佐川急便とその協力会社による倉庫の提供や、配送等の災害支援について定めたもの。佐川急便株式会社南東北支店支店長の梅木淳さんは「有事の際は、一丸となって町民の皆さまの安全を確保します」と述べました。



協定を締結した梅木淳支店長（左）と引地真町長（右）